

連続
フォーラム

地域課題からみた学校教育の将来像

食と農の過去と 未来の新しい学びを求めて

講師

京都大学・人文科学研究所准教授

ふじ はら たつ し

藤原 辰史

先生



日時

2022年 2月2日(水)

14:00~16:30

※タイムスケジュール等、詳細は裏面をご覧ください。



参加無料

場所

ZOOMによるオンライン配信・録画配信

申込
方法

- 電子メール 表題を「藤原先生講演申込」とし、本文に「お名前、ご所属、連絡先(メールアドレス)」を記載の上、下記まで送付してください。
- 申込・問合せ先 上越教育大学教科内容先端研究センター……メール:kyoka-cen@juen.ac.jp

上越教育大学・教科内容先端研究センターでは、グローバル時代の知識基盤社会にふさわしい、次世代の学校教科の内容について研究・開発を行っています。このたび、地域の課題解決に貢献する教科内容を考えるため、連続フォーラムを開催します。

今回は、農業史・環境史、とくに戦争・技術・飢餓・ナチズム・給食などをテーマにして、20世紀の食と農の歴史や思想について研究されている京都大学人文研究所准教授の藤原辰史さんを講師としてお招きし、食と農の過去と未来についての新しい学びを求める観点から、今後の地域社会と学校教育とのあるべき姿について講演していただきます。具体的な地域課題に取り組んでいる学生・教員、地域住民、公益事業者等による討論をおこないたいと思います。

地域での食と農の教育に携わる方々はもちろん、食と農に関心のある方々のご参加を広くお待ちしております。

タイムスケジュール

TIME SCHEDULE

13:30～	参加受付の開始
14:00～14:10	開会あいさつ・趣旨説明
14:10～15:40	藤原辰史先生の講演「食と農の過去と未来の新しい学びを求めて」
15:40～15:50	休憩（10分）
15:50～16:30	意見交換 食と農の視点から見た地域社会と学校教育の課題

PROFILE

ふじ はら たつ し
講師 藤原辰史先生

京都大学人文科学研究所准教授。1976年、北海道旭川市生まれ、鳥根県育ち、鳥根県立横田高校卒、京都大学総合人間学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科中退、京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て現職。

主な著書に『ナチス・ドイツの有機農業』（第1回日本ドイツ学会奨励賞）、『カブラの冬』、『稲の大東亜共栄圏』、『ナチスのキッチン』（第1回河合隼雄学芸賞）、『食べることを考えること』、『トラクターの世界史』、『戦争と農業』、『給食の歴史』（第10回辻静雄食文化賞）、『食べるとはどういうことか』、『分解の哲学』（第41回 サントリー学芸賞）、『縁食論』、『農の原理の史的研究』。2019年第15回日本学術振興会賞受賞。

申込・問合せ先

上越教育大学教科内容先端研究センター
メール：kyoka-cen@juen.ac.jp

